

プログラム

大会長講演

7月20日(日) 10:30～11:05 第1会場(5F 小ホール1)

座長：岡部 信彦(川崎生命科学・環境研究センター 川崎市健康安全研究所)

「国・地域別、渡航目的に応じたトラベラーズワクチンの選択と考え方」

宮津 光伸

第18回日本渡航医学会学術集会 大会長

名鉄病院予防接種センター センター長

特別講演

特別講演1 7月20日(日) 11:10～12:00 第1会場(5F 小ホール1)

座長：宮津 光伸(名鉄病院予防接種センター センター長)

「渡航ワクチンの接種手技と接種部位を考えるー筋肉内接種と皮下接種を中心にー」

岡田 賢司

福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野

特別講演2 7月21日(月) 9:35～10:25 第1会場(5F 小ホール1)

座長：宮津 光伸(名鉄病院予防接種センター センター長)

「渡航医学における優先度の考え方ーマラリアを含む感染症を中心にー」

木村 幹男

結核予防会 新山手病院内科

シンポジウム

シンポジウム 1 7月20日(日) 14:10～15:40 第1会場(5F 小ホール1)

「海外派遣企業での新型インフルエンザ対策」

座長：濱田 篤郎（東京医科大学病院 渡航者医療センター）

1. リスクマトリックスを利用した企業判断

鈴木 英孝
EMG マーケティング合同会社

2. 企業の対策

古賀 才博
トラベルクリニック新横浜

3. 医療機関の対応

大越 裕文
航仁会 渡航医学センター 西新橋クリニック

シンポジウム 2 7月20日(日) 15:50～17:20 第1会場(5F 小ホール1)

「トラベルクリニックのネットワーク構築」

座長：渡邊 浩（久留米大学医学部 感染制御学講座）
大越 裕文（航仁会 渡航医学センター 西新橋クリニック）

1. トラベルクリニックの概要

渡邊 浩
久留米大学医学部 感染制御学講座

2. 地域連携の中での大学病院の果たすべき役割

繁本 憲文
広島大学病院 感染症科

3. 渡航外来開設2年目までの問題点と今後の展望

久保園高明
済生会鹿児島病院 内科

4. トラベルクリニック運営における問題とその対策

大越 裕文
航仁会 渡航医学センター 西新橋クリニック

5. 海外で日本人を対象に診療されているクリニックの現状

白井 拓史
ロータスクリニック（ベトナム、ホーチミン）

シンポジウム3 7月21日(月) 10:00～12:00 第2会場(5F 小ホール2)

「多様化する渡航者への対応～現状と課題」(共同企画：看護部会)

座長：波川 京子(川崎医療福祉大学)
古閑比斗志(千代田化工建設)

1. 一般旅行者への対応

梅村 聖子
東京医科大学病院 渡航者医療センター

2. 海外勤務者の健康管理について

堀本 綾
オムロン株式会社 グローバル総務部 健康管理センタ

3. 立命館大学における学生の留学送り出し支援について

作田 恭子
立命館大学 保健センター

4. 日本に滞在する外国人医療

奥田 丈二
日比谷クリニック

シンポジウム4 7月21日(月) 13:10～14:40 第1会場(5F 小ホール1)

「こどもたちの海外生活心得“小児の海外長期滞在における健康管理”」

座長：田中 孝明(川崎医科大学小児科学講座)
福島 慎二(東京医科大学病院 渡航者医療センター)

1. 小児の海外長期滞在

田中 孝明
川崎医科大学小児科学講座

2. 渡航前の健康管理

福島 慎二
東京医科大学病院 渡航者医療センター

3. 滞在中の健康管理

鈴木 洋
鈴木こどもクリニック

4. 海外に住む子どものメンタルヘルス

澤谷 厚子
With Kids 海外に住む子どもの心の健康をサポートする臨床心理士の会

5. 在外教育施設における安全・健康対策の現状

山本 則夫
文部科学省初等中等教育局国際教育課 在外教育施設指導係長

Meet the Professor

7月21日(月) 9:00～9:30 第1会場(5F 小ホール1)

座長：菊池 均 (名鉄病院予防接種センター)

「海外渡航者への節足動物媒介性感染症対策—外来で私はこう説明している—」

西山 利正

関西医科大学公衆衛生学講座、附属滝井病院海外渡航者医療センター (併任)

平成25年度マルコ・ポーロ医学賞受賞者講演

7月21日(月) 14:45～15:30 第1会場(5F 小ホール1)

座長：尾内 一信 (川崎医科大学 小児科学)

1. マラリア予防内服終了後に発症した卵形マラリアの2例

藤谷 好弘

国立国際医療研究センター 国際感染症センター

2. トラベルクリニックにおける未承認ワクチンの使用状況とニーズ調査

福島 慎二

東京医科大学病院 渡航者医療センター

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1 7月20日(日) 12:10～13:00 第1会場(5F 小ホール1)

座長：狩野 繁之 (国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部)

マラリア予防の ABCD

加藤 康幸

国立国際医療研究センター 国際感染症センター国際感染症対策室

(共催：グラクソ・スミスクライン株式会社)

ランチョンセミナー 2 7月20日(日) 12:10～13:00 第2会場(5F 小ホール2)

座長：渡邊 浩 (久留米大学医学部 感染制御学講座)

旅人と感染症の三千年史～旅人が運ぶ感染症への対策

濱田 篤郎

東京医科大学病院 渡航者医療センター

(共催：サノフィ株式会社)

ランチョンセミナー 3 7月21日(月) 12:10～13:00 第1会場(5F 小ホール1)

座長：奥田 丈二 (日比谷クリニック)

渡航外来における現状～特に小児への予防接種について～

近 利雄^{1,2)}

1) THE KING CLINIC、2) 聖路加国際病院附属クリニックメディローカス内科

(共催：アステラス製薬株式会社)

一般財団法人 化学及血清療法研究所)

ランチョンセミナー 4 7月21日(月) 12:10～13:00 第2会場(5F 小ホール2)

座長：菊池 均 (名鉄病院予防接種センター)

B型肝炎ワクチン—渡航者の安全を守るために—

四柳 宏

東京大学大学院医学系研究科 生体防御感染症学

(共催：MSD 株式会社)

ティータイムセミナー

7月20日(日) 14:10～15:00 第2会場(5F 小ホール2)

座長：尾内 一信 (川崎医科大学 小児科学)

なぜ“トラベラーズワクチン”？～予防接種が必要なのは渡航者だけじゃないのに・・・～

中野 貴司

川崎医科大学 小児科

(共催：ジャパンワクチン株式会社／第一三共株式会社)

市民公開講座

7月21日(月) 13:40～15:20 第2会場(5F 小ホール2)

「海外感染症情報とその対策」

座長：菊池 均(名鉄病院予防接種センター 部長)
金武 和人(在インド日本国大使館)

1. 海外感染症情報と対策

＜企業活動における海外感染症のリスク・現場体験報告と対策＞

安部 史興
日本特殊陶業株式会社 人事部

2. 中国の医療事情

小林 昌明
金山ファミリークリニック

3. インドの医療事情

松丸美砂子
フォルティス グルガオン記念病院 内科 総合診療科

4. パキスタンの医療事情(在留邦人とポリオワクチン)

～ 出国できない? 入国できない? 無理やりのまされる? ～

竹川 僚一
在カラチ日本国総領事館 医務官

日本渡航医学会・インバウンド委員会・第1回会合

7月20日(日) 17:30～18:20 第2会場(5F 小ホール2)

担当：中村 安秀(大阪大学大学院 人間科学研究科 国際協力論講座)

- ・感染症対策(訪日する外国人および日本人が持ち込む感染症)
- ・異文化理解(在住外国人や訪日外国人に対する保健医療ケア)
- ・多言語支援(「日本語が通じない人」LJP: Limited Japanese Proficiency)
- ・医療通訳士(身分保障や認証のあり方の検討)

一般演題 1 7月20日（日） 11:10～12:00 第2会場（5F 小ホール 2）

「異文化交流・他」

座長：中村 安秀（大阪大学大学院 人間科学研究科 国際協力論講座）

- O1-1 海外旅行保険が適応外である疾患に対する補完制度の創設にむけて
ー北京龍頭クリニックの一事例からー
田中 健一
北京天衛診療所（龍頭クリニック）
- O1-2 医療通訳者雇用の課題
～滋賀県多言語医療通訳ネットワークの経験から～
井田 健^{1,2)}
1) 滋賀県多言語医療通訳ネットワーク協議会、2) 公立甲賀病院
- O1-3 在日外国人を対象にした市町村防災マニュアルの現状と作成時の課題
波川 京子
川崎医療福祉大学
- O1-4* トラベラーズワクチンの学生価格導入後の学生へのインパクト
爾見まさ子^{1,2)}
1) 厚生労働省東京検疫所 東京空港検疫所支所、
2) 独立行政法人国立国際医療研究センター トラベルクリニック

一般演題 2 7月20日（日） 15:10～16:15 第2会場（5F 小ホール 2）

「海外感染症と症例」

座長：宮城 啓（三菱重工業株式会社 長崎造船所病院 内科・渡航外来）

- O2-1 マニラ日本人社会における4年間（2010年5月～2014年4月）の
インフルエンザ流行状況報告
菊地 宏久
海外邦人医療基金 マニラ日本人会診療所駐在
- O2-2* ベトナムにおける麻疹流行の状況
大津 聡子^{1,2)}
1) 日本赤十字社 和歌山医療センター感染症内科部、2) 同 国際医療救援部
- O2-3 渡航（ワクチン）外来は麻疹・風疹対策の最前線である
田中 敏博
JA 静岡厚生連 静岡厚生病院 小児科 / 渡航ワクチン外来
- O2-4* 腸チフス・パラチフスの小児例
天羽 清子
大阪市立総合医療センター 小児救急科

一般演題 3 7月20日(日) 16:15～17:20 第2会場(5F 小ホール2)

「渡航外来システムとワクチン」

座長：後藤 泰浩（総合上飯田第一病院 小児科）

O3-1 ワクチン外来開設5年目における電子カルテ化・病院移転に際しての問題点

鬼頭 敏幸
愛知医科大学病院 小児科・ワクチン外来

O3-2 当科における予防接種外来支援プログラムの試作開発と運用について

菊池 均
名鉄病院予防接種センター

O3-3 A型肝炎ワクチン（エイムゲン：Aimmugen,）2回法の検証

宮津 光伸
名鉄病院予防接種センター

O3-4 狂犬病ワクチン曝露前皮内接種法による有効性の持続に関する検討

西園 晃^{1,2)}
1) 大分大学医学部 微生物学、2) 大分県厚生連鶴見病院 海外渡航外来

O3-5 4価髄膜炎菌ワクチン（ジフテリアトキソイド結合体）の免疫原性及び安全性：
第3相臨床試験結果

三原 華子
サノフィ株式会社 サノフィパスツールワクチン事業部

一般演題 4 7月21日(月) 10:30～11:20 第1会場(5F 小ホール1)

「海外事情・感染症と環境と」

座長：水野 泰孝（東京医科大学病院 渡航者医療センター）

O4-1* インド進出企業に提供している医療衛生情報の要点

金武 和人^{1,2)}
1) 外務省医務官、2) 在インド日本国大使館

O4-2 マレーシアとフィリピンの長期滞在者に対する医療体制と
我が国の取組に関する一考察

古川 彰洋
(株) JTB 関東（一般財団法人ロングステイ財団 前事業部長）

O4-3 ミャンマー邦人社会の現状と課題 2014

勝田 吉彰
関西福祉大学

O4-4 モスクワの医療衛生情報の要点

宮村 和夫^{1,2)}
1) 外務省医務官、2) 在ロシア日本国大使館

「トラベルクリニックの工夫」

座長：三島 伸介（りんくう総合医療センター 総合内科・感染症内科）

- O5-1 当社におけるインド出張・派遣に対する医療面の支援
宮城 啓
三菱重工業株式会社 長崎造船所病院 内科
- O5-2* 渡航外来での看護師の役割の検討—副反応を後ろ向きに調査して—
白倉 美香
三菱重工業株式会社 長崎造船所病院 看護科
- O5-3* 海外派遣社員の健康管理対策の現状と課題
栗田 直
東京医科大学病院・渡航者医療センター

ポスター発表

7月20日(日) 17:30～18:20 ポスター展示会場(6F 展示室602+603)

- P1* 産婦人科クリニックにおける渡航外来開設2年の現状
山本 悦子
山本ウィメンズクリニック
- P2* 愛媛大学医学部附属病院における海外渡航外来の現況
村上 雄一^{1,2)}
1) 喜多医師会病院 内科、2) 愛媛大学医学部 血液・免疫・感染症内科学
- P3 東京医科大学病院・渡航者医療センターにおける黄熱ワクチン接種状況
大野ゆみ子
東京医科大学病院・渡航者医療センター
- P4* 渡航医学の淵源としての19世紀後半の医療地理学—ロシア海軍医学における日本表象を中心に—
宮崎 千穂
独立行政法人日本学術振興会 特別研究員
- P5 原子力災害と渡航医学—原子力発電所の視察経験を中心に—
原口 義座
京葉病院・災害医療大系編纂チーム
- P6 訪日する外国人渡航者のアニサキス感染予防策に関する基本的検討
牧 純
松山大学薬学部 生体環境系薬学講座感染症学研究室
- P7 携帯型CPAP；高所旅行・トレッキングを希望する重症OSAS患者の福音となるか
増山 茂
東京医科大学病院 渡航者医療センター